

六月俳句「梅雨・雨・あまがえる」

二年生

あめがふる おおあめがふる ざあざあと
あまがえる かさがほしくて ないている
つゆのひに ゲロゲロゲロと あまがえる
あめふつて カエルがとんで ぼくもとぶ
つゆじきは じめじめするよ だいきらい
あめがふり あまがえるた げこげこと
元気だな ピョンピョンとぶよ あまがえる

三年生

あめの日は みずに当てられ いいきもち
あまがえる つゆがだいすき うれしいな
あめふれと かわいくなくよ あまがえる
かわいいな ぴよんぴよんはねる あまがえる
つゆのとき あめはうれしい はれはだめ
うるさいな よるはケロケロ あまがえる
うつくしい いろあざやかな あじさいだ
あめの日に ゲコゲコなくよ あまがえる
あまがえる 梅雨になったら ゲコゲコと
梅雨が来た あまがえるたち うれしそう
かたつむり アジサイが好き 梅雨なかも
つうがくろ きれいないろの あじさいよ
みんなでさ いっしょになくよ あまがえる

四年生

梅雨の日は いっぱいなくよ あまがえる
あめあびて げんきいっぱい あまがえる
雨の日は 部屋で過ごすの もういやだ
ぽたぽたと 水てきたちの 合唱祭
雨の日は 外であそべず 中にいる
梅雨がくる 梅雨が過ぎたら 夏がくる
雨の日は じめじめしてて あつすぎる
雨の音 んーざーと ふつてくる
梅雨になり 校庭いつに かわくかな
雨の日々 じめじめとした 梅雨の時期
まだそこに いたのどうして かたつむり
雨のつぶ ぽつぽつ当たる 手のひらに

五年生

梅雨がくる 梅雨が過ぎたら 夏がくる
雨の日は じめじめしてて あつすぎる
雨の音 んーざーと ふつてくる
梅雨になり 校庭いつに かわくかな
雨の日々 じめじめとした 梅雨の時期
まだそこに いたのどうして かたつむり
雨のつぶ ぽつぽつ当たる 手のひらに

六年生

梅雨がくる 梅雨が過ぎたら 夏がくる
雨の日は じめじめしてて あつすぎる
雨の音 んーざーと ふつてくる
梅雨になり 校庭いつに かわくかな
雨の日々 じめじめとした 梅雨の時期
まだそこに いたのどうして かたつむり
雨のつぶ ぽつぽつ当たる 手のひらに



かたがい たいが
さうら あさひ
きりはら そら
わたなべ まさと
やすだ ねね
小山 陽なた
さとう ゆうと
みぞい そうた
さとう れん
後とう ほのか
石い なごみ
そが かなと
根本 陽向
佐藤 迅
柳沼 寿乃
小山 陽愛
三瓶 叶人
上原 大輝
佐藤 空詩
樽川 暖音奏
根本 純平
佐浦 ひかり
二瓶 椋介
樽川 龍我
須田 心愛
佐藤 結愛
渡辺 樹哉
佐藤 豪
和田 遥翔
白岩 蒼奈
佐藤 熙媛
川田 梨沙菜



